平成１８年１２月期　第３四半期財務・業績の概況（連結）

平成１８年１０月２５日

会　社　名　ニスカ株式会社　　(コード番号：６４１５　ＪＡＳＤＡＱ)
（ＵＲＬ　http://www.nisca.co.jp）
問合せ先　代表者役職・氏名　代表取締役社長　田　中　守
　　責任者役職・氏名　管理部長　　小宮山　章　　(Tel：(0556)22－6600(代表))

１．四半期財務情報の作成等に係る事項

① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無　：　有

(内容)

一部の連結子会社は、税効果会計に簡便法を適用しております。

② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無　：　無

③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無：　無

２．平成１８年１２月期第３四半期財務・業績の概況（平成１８年１月１日　～　平成１８年９月３０日）

(1) 経営成績(連結)の進捗状況　　(注) 記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております。

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円　　%	百万円　　%	百万円　　%	百万円　　%
18年12月期第３四半期	33,364　(0.4)	1,472 (△43.5)	1,673 (△40.9)	1,191 (△33.5)
17年12月期第３四半期	33,242 (△1.4)	2,604 (△21.1)	2,833 (△17.8)	1,790 (△21.4)
(参考)17年12月期	45,022	3,329	3,765	2,370

	１株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期(当期)純利益
	円　　銭	円　　銭
18年12月期第３四半期	116　　13	―
17年12月期第３四半期	174　　53	―
(参考)17年12月期	227　　35	―

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

［経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等］

当第３四半期までの我が国の経済は、改善が続く企業業績を受けて設備投資や個人消費が堅調に推移し、景気の回復が続きました。

当社グループ関連市場におきましては、事務機の多機能化が進む中、カラー複合機の需要が拡大を示し、ビデオカメラでは非テープ方式で記録できる製品のシェアが伸び、デジタルカメラは買い替え需要が市場をけん引しましたが、各市場ともに販売価格の下落が続きました。

このような環境の中で、ＯＡ機器事業では売上が減少しましたが、光学計測機器事業で売上を伸ばした結果、売上高は３３３億６千４百万円（前年同期比０.４％増）となりました。

一方、利益面につきましては、原価低減活動を進めてまいりましたが、販売価格の低下、原材料価格の上昇、機種構成の変動に加え、光学計測機器事業の営業損失により、 営業利益は１４億７千２百万円（前年同期比４３.５％減)、経常利益は１６億７千３百万円（前年同期比４０.９％減)、四半期純利益は、適格年金制度の廃止による特別利益の計上などにより１１億９千１百万円（前年同期比３３.５％減）となりました。

事業の種類別セグメントの業績概況は次のとおりであります。

① ＯＡ機器事業

ペーパーハンドリング事業では、顧客の内製化の影響が見られる中、自動原稿送り装置は中・低速機やカラー機向け製品の販売台数を伸ばし売上を前年同期並みとしましたが、フィニッシャは、予定していた新機種の本体(複合機)の発売延期もあり売上が減少しました。また、３月に販売を開始したパーフェクトバインダー機器（コピーした用紙を糊付けして書籍のように綴じることができる製本機）は順調な滑り出しを見せました。

スキャナ事業では、プリンタベースのＭＦＰ需要が引き続き拡大する中、原稿の両面を読み取れる高速タイプの自動原稿送り装置を複合したＭＦＰ用Ａ３スキャナが、海外での売上増加によりロングセラーとなるとともに、新規顧客に供給をスタートしたネットワーク対応スキャナも売上に寄与しました。

プリンタ事業では、普及タイプのＩＤカードプリンタ「ＰＲ５３５０ＦＳ」の投入により製品ラインナップを強化した効果が表われる中、海外の行政機関に製品が採用されるなどＩＤカードプリンタ全体が好調に推移し、ドットインパクトプリンタも売上を伸ばしました。

これらの結果、ＯＡ機器事業全体の売上高は連結では２９４億４千５百万円（前年同期比０.１％減)、営業利益は２２億９千２百万円（前年同期比２２.４％減）となりました。

② 光学計測機器事業

オプト事業では、デジタルカメラ用シャッタユニットの販売が減少し、プロジェクタ用オートアイリスも伸び悩みましたが、作動性を改善したビデオカメラ用オートアイリスが売上を伸ばしました。利益面では、激しい価格競争や一部製品の歩留まりの低下が長引いたことに加え、その他事業の売上減少により営業損失となりました。

これらの結果、光学計測機器事業全体の売上高は連結では４６億７千７百万円（前年同期比９.１％減)、営業損失は３億７千２百万円（前年同期は営業利益１千２百万円）となりました。

なお、事業の種類別セグメントの業績概況は、セグメント間の内部取引消去前の数値を記載しております。このため、光学計測機器事業全体の売上高が前年同期比で減少しておりますが、内部取引消去後の売上高は前年同期よりも増加しております。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
18 年 12 月期第３四半期	29,988	19,256	64.2	1,877 21
17 年 12 月期第３四半期	30,179	17,270	57.2	1,683 60
(参考)17 年 12 月期	30,596	18,218	59.5	1,772 32

(3) 連結キャッシュ･フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18 年 12 月期第３四半期	2,931	△426	△256	6,566
17 年 12 月期第３四半期	1,813	△547	△949	5,179
(参考)17 年 12 月期	923	△516	△1,049	4,257

［財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等］

当第３四半期におけるキャッシュ・フローは次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少、税金等調整前四半期純利益が主要な要因となり、２９億３千１百万円の収入(前年同期１８億１千３百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に実施した空調設備の更新の支払等により、４億２千６百万円の支出(前年同期５億４千７百万円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払により、２億５千６百万円(前年同期９億４千９百万円の支出)の支出となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第３四半期末残高は６５億６千６百万円で、前期末残高に対し、２３億９百万円増加いたしました。

３．平成１８年１２月期の連結業績予想（平成１８年１月１日～平成１８年１２月３１日）

[連結業績予想に関する定性的情報等]

業績の見通しにつきましては、平成１８年７月２５日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

〔添付資料〕

1．連結貸借対照表

（単位：千円未満四捨五入）

期別 / 科目	当四半期（平成18年12月期第３四半期末）	前年同四半期（平成17年12月期第３四半期末）	増減		（参考）平成17年12月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
【資産の部】				%	
Ⅰ流動資産	20,855,702	21,063,739	△208,037	△1.0	21,127,646
現金及び預金	6,494,950	5,296,008	1,198,942		4,329,449
受取手形及び売掛金	11,368,983	12,176,758	△807,775		13,365,961
有価証券	141,772	91,734	50,038		141,744
たな卸資産	2,587,271	2,972,355	△385,084		2,969,662
繰延税金資産	106,384	207,004	△100,620		－
その他	233,394	396,635	△163,241		372,379
貸倒引当金	△77,052	△76,755	△297		△51,549
Ⅱ固定資産	9,132,284	9,114,922	17,362	0.2	9,468,417
有形固定資産	(7,094,744)	(7,281,107)	(△186,363)	(△2.6)	(7,272,382)
建物及び構築物	2,597,164	2,625,709	△28,545		2,733,902
機械装置及び運搬具	570,167	539,002	31,165		502,938
工具、器具及び備品	685,686	843,958	△158,272		811,631
土地	3,241,727	3,270,392	△28,665		3,223,911
建設仮勘定	－	2,046	△2,046		－
無形固定資産	(55,829)	(47,187)	(8,642)	(18.3)	(56,462)
投資その他の資産	(1,981,711)	(1,786,628)	(195,083)	(10.9)	(2,139,573)
投資有価証券	1,750,383	1,466,859	283,524		1,858,304
繰延税金資産	－	64,360	△64,360		－
その他	259,156	279,980	△20,824		308,229
貸倒引当金	△27,828	△24,571	△3,257		△26,960
資産合計	29,987,986	30,178,661	△190,675	△0.6	30,596,063

（単位：千円未満四捨五入）

期別 / 科目	当四半期（平成18年12月期第３四半期末）	前年同四半期（平成17年12月期第３四半期末）	増減		（参考）平成17年12月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
【負債の部】				%	
Ⅰ流動負債	8,626,360	10,632,647	△2,006,287	△18.9	10,002,889
支払手形及び買掛金	6,950,552	8,079,921	△1,129,369		7,925,530
短期借入金	—	100,000	△100,000		—
未払法人税等	112,515	550,793	△438,278		501,656
繰延税金負債	—	—	—		41,276
賞与引当金	536,190	528,613	7,577		151,156
役員賞与引当金	7,650	—	7,650		—
設備支払手形	76,932	147,335	△70,403		79,098
その他	942,521	1,225,985	△283,464		1,304,173
Ⅱ固定負債	2,105,223	2,275,653	△170,430	△7.5	2,375,068
繰延税金負債	208,857	—	208,857		98,551
退職給付引当金	1,731,436	1,986,435	△254,999		1,994,027
役員退職慰労引当金	164,930	289,218	△124,288		282,490
負債合計	10,731,583	12,908,300	△2,176,717	△16.9	12,377,957
【資本の部】					
Ⅰ資本金	—	2,102,430	—	—	2,102,430
Ⅱ資本剰余金	—	2,030,340	—	—	2,030,340
Ⅲ利益剰余金	—	13,565,062	—	—	14,144,527
Ⅳ その他有価証券評価差額金	—	458,321	—	—	695,794
Ⅴ 為替換算調整勘定	—	△872,072	—	—	△741,265
Ⅵ自己株式	—	△13,720	—	—	△13,720
資本合計	—	17,270,361	—	—	18,218,106
負債・資本合計	—	30,178,661	—	—	30,596,063
【純資産の部】					
Ⅰ株主資本	19,160,745	—	—	—	—
資本金	2,102,430	—	—		—
資本剰余金	2,030,340	—	—		—
利益剰余金	15,041,695	—	—		—
自己株式	△13,720	—	—		—
Ⅱ評価・換算差額等	95,658	—	—	—	—
その他有価証券評価差額金	625,492	—	—		—
為替換算調製勘定	△529,834	—	—		—
純資産合計	19,256,403	—	—	—	—
負債純資産合計	29,987,986	—	—	—	—

2．連結損益計算書

（単位：千円未満四捨五入）

科目＼期別	当四半期（平成18年12月期第３四半期）		前年同四半期（平成17年12月期第３四半期）		増減		（参考）平成17年12月期	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
		%		%		%		%
Ⅰ 売上高	33,364,250	100.0	33,241,796	100.0	122,454	0.4	45,021,951	100.0
Ⅱ 売上原価	29,278,160	87.8	27,812,547	83.7	1,465,613	5.3	37,979,287	84.4
売上総利益	4,086,090	12.2	5,429,249	16.3	△1,343,159	△24.7	7,042,664	15.6
Ⅲ 販売費及び一般管理費	2,613,633	7.8	2,825,018	8.5	△211,385	△7.5	3,713,242	8.2
営業利益	1,472,457	4.4	2,604,231	7.8	△1,131,774	△43.5	3,329,422	7.4
Ⅳ 営業外収益	261,376	0.8	239,616	0.7	21,760	9.1	448,078	1.0
受取利息	96,382		39,337		57,045		57,937	
受取配当金	8,118		6,801		1,317		11,901	
為替差益	－		99,705		△99,705		231,580	
雑収益	156,876		93,773		63,103		146,660	
Ⅴ 営業外費用	60,746	0.2	10,924	0.0	49,822	456.1	12,259	0.0
支払利息	－		8,080		△8,080		9,500	
為替差損	58,807		－		58,807		－	
雑損失	1,939		2,844		△905		2,759	
経常利益	1,673,087	5.0	2,832,923	8.5	△1,159,836	△40.9	3,765,241	8.4
Ⅵ 特別利益	254,033	0.8	1,768	0.0	252,265	14,268.4	157,028	0.3
投資有価証券売却益	－		－		－		3,080	
子会社株式売却益	－		－		－		41,602	
固定資産売却益	1,266		1,768		△502		2,946	
適格年金制度廃止差益	252,767		－		252,767		－	
厚生年金基金解散益	－		－		－		109,400	
Ⅶ 特別損失	7,395	0.0	24,029	0.0	△16,634	△69.2	58,116	0.1
固定資産売却損	698		100		598		100	
固定資産除却損	6,697		23,929		△17,232		58,016	
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,919,725	5.8	2,810,662	8.5	△890,937	△31.7	3,864,153	8.6
法人税、住民税及び事業税	720,741	2.2	1,070,577	3.2	△349,836	△32.7	1,292,502	2.9
法人税等調整額	7,687	0.0	△50,294	△0.1	57,981	－	201,807	0.4
四半期(当期)純利益	1,191,297	3.6	1,790,379	5.4	△599,082	△33.5	2,369,844	5.3

3．連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円未満四捨五入）

科目 ＼ 期別	当四半期 (平成18年12月期 第３四半期)	前年同四半期 (平成17年12月期 第３四半期)	(参考) 平成17年12月期
	金額	金額	金額
Ⅰ 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,919,725	2,810,662	3,864,153
減価償却費	605,816	594,247	844,495
退職給付引当金の増減(△)額	△262,591	△35,801	△28,209
役員退職慰労引当金の増減(△)額	△117,560	24,993	34,564
貸倒引当金の増減(△)額	26,371	3,105	△19,712
賞与引当金の増減(△)額	383,515	342,787	△27,202
受取利息及び受取配当金	△104,501	△46,138	△69,839
支払利息	―	8,080	9,500
有形固定資産除却損	6,697	23,929	58,016
その他損益	△534	△291	△46,855
売上債権の増(△)減額	2,051,176	509,230	△722,615
たな卸資産の増(△)減額	422,042	△668,018	△648,355
仕入債務の増減(△)額	△998,409	460,738	340,065
未払金の増減(△)額	△43,207	7,460	△294,380
役員賞与の支払額	△37,678	△52,259	△52,259
その他	△20,494	△233,837	△67,348
小計	3,830,368	3,748,887	3,174,019
利息及び配当金の受取額	106,366	47,165	68,897
利息の支払額	―	△8,403	△9,760
法人税等の支払額	△1,005,658	△1,974,463	△2,309,671
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,931,076	1,813,186	923,485
Ⅱ 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出	―	△540,000	△548,000
定期預金の払戻による収入	151,000	631,106	640,306
有価証券の取得による支出	△70,903	△70,965	△70,965
有価証券の売却による収入	70,918	70,965	70,965
投資有価証券の取得による支出	△7,422	△75,337	△78,337
投資有価証券の売却による収入	―	80,485	86,521
連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	―	―	117,602
有形固定資産の取得による支出	△561,907	△648,753	△831,006
有形固定資産の売却による収入	1,534	11,895	13,405
無形固定資産の取得による支出	△16,592	△8,746	△23,897
その他	7,300	2,389	107,749
投資活動によるキャッシュ・フロー	△426,072	△546,961	△515,657
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金純増減(△)額	―	△500,000	△500,000
長期借入金の返済による支出	―	△181,990	△282,348
配当金の支払額	△256,450	△266,708	△266,708
財務活動によるキャッシュ・フロー	△256,450	△948,698	△1,049,056
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る換算差額	60,488	43,174	79,371
Ⅴ 現金及び現金同等物の増減(△)額	2,309,042	360,701	△561,857
Ⅵ 現金及び現金同等物の期首残高	4,256,705	4,818,562	4,818,562
Ⅶ 現金及び現金同等物の期末残高	6,565,747	5,179,263	4,256,705

４．セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当四半期（自 平成１８年１月１日　至 平成１８年９月３０日）　（単位：千円未満四捨五入）

	ＯＡ機器	光学計測機器	計	消去又は全社	連結
Ⅰ 売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	29,444,771	3,919,479	33,364,250	－	33,364,250
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	757,122	757,122	(757,122)	－
計	29,444,771	4,676,601	34,121,372	(757,122)	33,364,250
営業費用	27,152,880	5,048,521	32,201,401	(309,608)	31,891,793
営業利益又は営業損失（△）	2,291,891	△371,920	1,919,971	(447,514)	1,472,457

（注） 1. 事業区分の方法は、内部管理上採用している区分によっております。
2. 各事業の主な製品
(1) ＯＡ機器・・・・・ ペーパーハンドリング機器（自動原稿送り装置、フィニッシャ、大容量給紙カセット）、スキャナ、プリンタ
(2) 光学計測機器・・・・・ ビデオカメラ用オートアイリス、デジタルカメラ用シャッタユニット、ＤＣモータ
3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は448,525千円であり、その主なものは、当社の総務部門、管理部門に係る費用であります。

前年同四半期（自 平成１７年１月１日　至 平成１７年９月３０日）　（単位：千円未満四捨五入）

	ＯＡ機器	光学計測機器	計	消去又は全社	連結
Ⅰ 売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	29,464,227	3,777,569	33,241,796	－	33,241,796
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	1,369,349	1,369,349	(1,369,349)	－
計	29,464,227	5,146,918	34,611,145	(1,369,349)	33,241,796
営業費用	26,511,189	5,134,649	31,645,838	(1,008,273)	30,637,565
営業利益	2,953,038	12,269	2,965,307	(361,076)	2,604,231

（注） 1. 事業区分の方法は、内部管理上採用している区分によっております。
2. 各事業の主な製品
(1) ＯＡ機器・・・・・ ペーパーハンドリング機器（自動原稿送り装置、ソータ、フィニッシャ、大容量カセット）、スキャナ、プリンタ
(2) 光学計測機器・・・・・ ビデオカメラ用オートアイリス、デジタルカメラ用シャッタユニット、ＤＣモータ
3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は384,029千円であり、その主なものは、当社の総務部門、管理部門に係る費用であります。

〔所在地別セグメント情報〕

当四半期（自 平成１８年１月１日　至 平成１８年９月３０日）　（単位：千円未満四捨五入）

	日　本	ア　ジ　ア	計	消去又は全社	連　　結
Ⅰ 売上高及び営業損益					
売　　上　　高					
(1) 外部顧客に対する売上高	18,003,184	15,361,066	33,364,250	－	33,364,250
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	531,062	2,600,102	3,131,164	(3,131,164)	－
計	18,534,246	17,961,168	36,495,414	(3,131,164)	33,364,250
営　業　費　用	18,748,972	15,822,352	34,571,324	(2,679,531)	31,891,793
営業利益又は営業損失（△）	△214,726	2,138,816	1,924,090	(451,633)	1,472,457

（注）1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. アジアに属する国は以下のとおりであります。
アジア：中国、タイ
3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は448,525千円であり、その主なものは、当社の総務部門、管理部門に係る費用であります。

前年同四半期（自 平成１７年１月１日　至 平成１７年９月３０日）　（単位：千円未満四捨五入）

	日　本	ア　ジ　ア	計	消去又は全社	連　　結
Ⅰ 売上高及び営業損益					
売　　上　　高					
(1) 外部顧客に対する売上高	20,836,028	12,405,768	33,241,796	－	33,241,796
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	397,772	1,830,104	2,227,876	(2,227,876)	－
計	21,233,800	14,235,872	35,469,672	(2,227,876)	33,241,796
営　業　費　用	20,059,474	12,477,479	32,536,953	(1,899,388)	30,637,565
営　業　利　益	1,174,326	1,758,393	2,932,719	(328,488)	2,604,231

（注）1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. アジアに属する国は以下のとおりであります。
アジア：中国、タイ
3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は384,029千円であり、その主なものは、当社の総務部門、管理部門に係る費用であります。

〔海外売上高〕

当四半期（自 平成１８年１月１日　至 平成１８年９月３０日）　（単位：千円未満四捨五入）

	欧　州	北　米	ア ジ ア	そ の 他	合　計
Ⅰ 海 外 売 上 高	1,737,931	1,984,561	10,578,431	843	14,301,766
Ⅱ 連 結 売 上 高	－	－	－	－	33,364,250
Ⅲ 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	5.2	6.0	31.7	0.0	42.9

（注） 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. 各区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。
欧　州：ドイツ、フランス、オランダ他
北　米：プエルトリコ、アメリカ他
アジア：中国、シンガポール、マレーシア他
その他：オーストラリア他
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

前年同四半期（自 平成１７年１月１日　至 平成１７年９月３０日）　（単位：千円未満四捨五入）

	欧　州	北　米	ア ジ ア	そ の 他	合　計
Ⅰ 海 外 売 上 高	1,272,420	1,558,378	8,921,505	6,631	11,758,934
Ⅱ 連 結 売 上 高	－	－	－	－	33,241,796
Ⅲ 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	3.8	4.7	26.9	0.0	35.4

（注） 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. 各区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。
欧　州：ドイツ、フランス、オランダ他
北　米：アメリカ、メキシコ他
アジア：中国、シンガポール、タイ他
その他：オーストラリア他
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。